

授業科目 精神保健学

【担当教員名】 渡邊 良弘	対象学年	2	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	4	時間数	60

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

【概要・一般目標：G10】
 個人の心と身体、家庭・学校・職場における精神保健の基礎を知ることにより、人の一生における心と生活の課題、パーソナリティの形成の課題、地域社会における適応と定着の問題、および世界各国の精神保健とその課題について知識を広げ深め、精神保健学について自ら思考し判断ができる

【学習目標・行動目標：SBO】
 1. 精神保健の歴史と現在の精神保健福祉までの経緯の知識をもつ
 2. 人生における成長課題についての認識を得て人格の尊厳についての知識を持ち、自らの言葉として表現できる
 3. 家庭・学校・職場・地域社会における精神保健問題について知り問題解決能力の知識を体得する
 4. 精神保健の施策と健康増進に関する法律と課題について学ぶ
 5. 世界の精神保健におけるわが国の精神保健の位置を知ることができる

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	精神保健の基礎（1）	1	講義
2	精神保健とその周辺課題（1）	1, 2, 3	講義
3	精神保健の基礎（2）	1, 2, 3	講義
4	精神保健とその周辺課題（2）	1, 2, 3	講義
5	精神保健の基礎（3）	1, 2, 3	講義
6	精神保健とその周辺課題（3）	1, 2, 3	講義
7	精神保健の基礎その（4）	1, 2, 3	講義
8	精神保健とその周辺課題（4）	2, 3	講義
9	精神保健の基礎（5）	2, 3	講義
10	こころのシグナル－精神症状について（1）	2, 3	講義
11	こころのシグナル－精神症状について（2）	2, 3	講義
12	こころのシグナル－精神症状について（3）	2, 3	講義
13	こころのシグナル－精神症状について（4）	2, 3	講義
14	こころのシグナル－精神症状について（5）	2, 3	講義
15	こころのシグナル－精神症状について（6）	2, 3	講義
16	こころのシグナル－精神症状について（7）	2, 3	講義
17	こころのシグナル－精神症状について（8）	2, 3	講義
18	家庭・学校・地域の精神保健（1）	2, 3	講義
19	家庭・学校・地域の精神保健（2）	2, 3	講義
20	家庭・学校・地域の精神保健（3）	2, 3	講義
21	家庭・学校・地域の精神保健（4）	2, 3	講義
22	家庭・学校・地域の精神保健（5）	2, 3	講義
23	家庭・学校・地域の精神保健（6）	2, 3	講義
24	家庭・学校・地域の精神保健（7）	2, 3	講義
25	家庭・学校・地域の精神保健（8）	2, 3	講義
26	精神保健の法制度	3, 4	講義
27	世界各国の精神保健	3, 5	講義
28	世界各国の精神保健課題	3, 5	講義
29	精神保健学のまとめ	1, 2, 3, 4, 5	講義
30	精神保健学のまとめ	1, 2, 3, 4, 5	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	精神保健, 新版; 第2版	相澤 宏邦、斎藤 秀光、白澤 英勝	医学出版社	2010・2,625円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況 30%, 後期試験 70%である	【履修上の留意点】 著しい私語など授業の妨げとなる迷惑行為はその都度注意する
---------------------------------	---